

■特別会計ほか予算額■

■特別会計■ 103億600万円

国民健康保険	55億1,000万円
後期高齢者医療	6億3,500万円
介護保険	41億4,700万円
楠木及び天野揚水場管理	1,400万円

■水道事業会計■ 15億3,293万円

■下水道事業会計■ 26億3,883万円

■基金の状況■

基金名	令和3年度末 残高見込額
財政調整基金	27億1,208万円
減債基金	3億4,839万円
福祉対策基金	7,309万円
教育振興基金	2,690万円
ふるさと・水と土基金	2,609万円
環境基金	84万円
ふるさと応援基金	2億3,309万円
葦山反射炉保全基金	1億1,246万円
志龍塾教育基金	1,311万円
庁舎建設基金	3億36万円
温泉保護対策基金	3,003万円
地域振興基金	21億8,520万円
森林環境整備促進基金	880万円
新型コロナウイルス 感染症対策利子補給基金	2,246万円
土地取得基金	1億136万円
収入印紙等購入基金	600万円
国民健康保険事業基金	3億7,689万円
介護給付費準備基金	4億2,376万円
楠木・天野揚水場 管理基金	3,500万円
合計	70億3,591万円

■市債の状況■

会計名	令和3年度末 残高見込額
一般会計	277億7,579万円
企業会計	
水道事業債	6億6,513万円
簡易水道等事業債	4億3,709万円
下水道事業債	35億9,621万円
合計	324億7,422万円

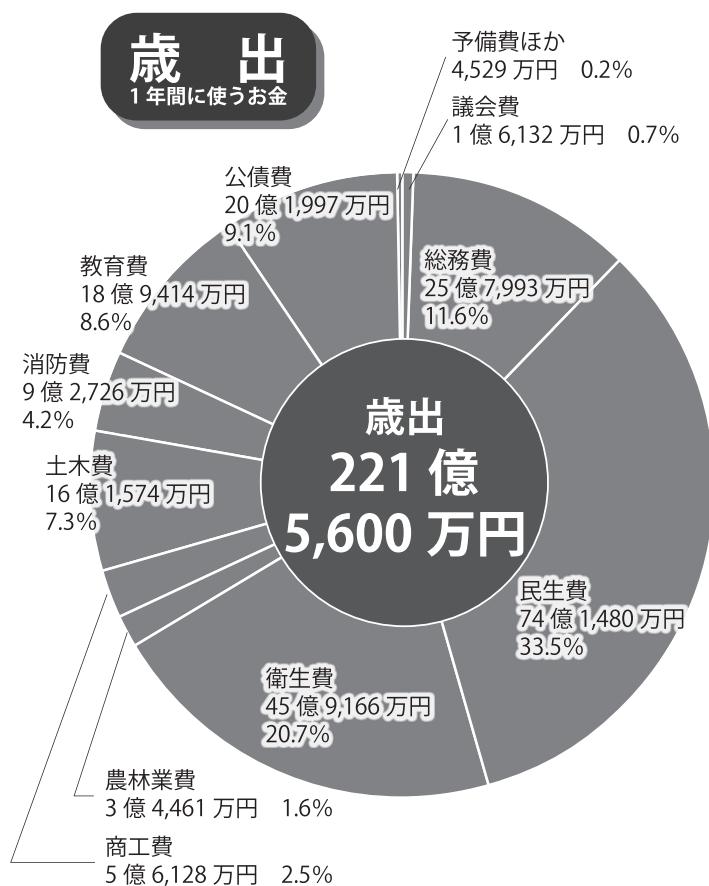
※このうち約67%は今後、普通交付税として組み込まれる見込みです。

令和3年度 当初予算の概要

■一般会計■

*一般会計とは、地方公共団体の中心となる会計で、行政運営の基本的な経費を表します。

221億5,600万円



よし！ 時が来る いずのくに“未来づくり”予算

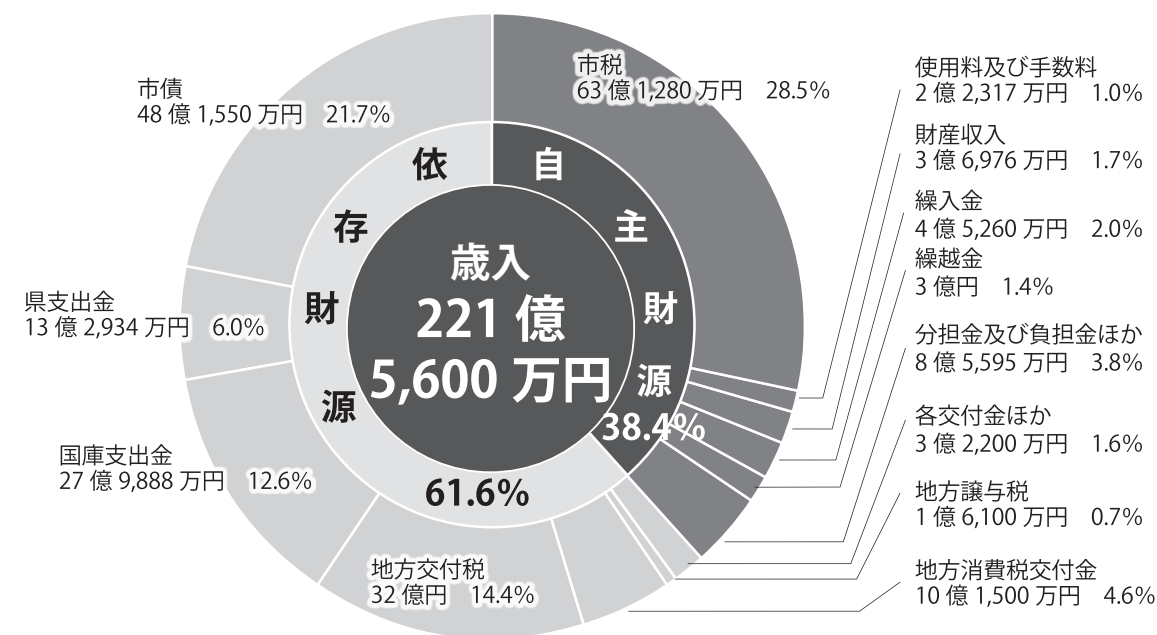
令和3年度の一般会計予算額は、221億5,600万円で、前年度に比べ約10億円増加し、全体として過去最大の当初予算規模となっております。

本年度は、広域廃棄物処理施設・し尿処理場が建設のピークを迎えるなど、規模の大きいインフラ整備が重なっています。また、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放映が2022年に予定されており、放映前に体制を整えるための準備が必要となります。

将来を見据えた生活基盤づくり、いのち・生活を守る体制づくり、そして歴史を活かしたまちづくりを柱として、伊豆の国市の“未来づくり”のための施策を推進していきます。

財務課 ☎ 055-948-1414

歳入



市民一人あたりの予算 46万260円の使い道

※令和2年10月1日現在の住民基本台帳人口(48,138人)で算出しています

